



# ふじ美が原

富士見中学校

## 令和5年度 3学期終業式より

### 3学期終業式 校長先生の話

皆さん、おはようございます。登校日数四十八日間の3学期が終わりました。

今日は、本題に入る前に、来週火曜日の十九日から二十八日までの十日間、富士見町人材育成海外派遣事業として、本校から生徒七名と先生一名がニュージールランドに派遣されますので、紹介します。まずは二年生から五十音順に紹介します。石垣大洋さん、梅崎志音さん、加藤春馬さん、坂本凜音さん、高野由空さん、田中ウイロン莉生さんの六名です。そして、三年生後藤悠隆さん、以上の七名です。それから、川口先生に派遣事業の副団長としてご参加いただきます。今まで何度も学習会を重ね、いよいよ来週出発となります。是非多くを学んで来て欲しいと思います。そして、学びの成果を発表していただける日を楽しみにし

ています。どうか気をつけて行ってきてください。

さて、本題に入ります。先月、一・二年生は、被爆体験証言者として、広島から飯田國彦先生にお越しいただき、被爆体験を直接お伺いする機会に恵まれました。その時の感想をいくつか紹介します。

ある一年生は次のような感想をもちました。

○飯田さんや被害者の人達はみんな今の私達と同じように家族と楽しく過ごしていたり友達と遊んでいたりと、とても平和な日々を送っていたのに突然大きな警報がなったと思えば空から原爆が降ってきたり家族や友達に感謝の気持ちも伝えられずに一瞬でみんな跡形もなく灰になってしまったり本当に残酷な世界だと思いました。国同士の戦いに関係のない沢山の人達を巻き込んで苦しめた戦争が私は正直言ってとても憎いです。みんな同じ人間で一生懸命に生きている事は同じなのだから争うよりも協力すれば良いのにと私は思いました。そしたら、飯田さ

んのご家族の方や原爆で亡くなってしまった方達も苦しく悲しく怖い思いもせずに生きていたのにも思います。私は、このお話を聞くまで毎日同じ生活なんかつまらないなと思っていました。でも、飯田さんのお話を聞いて私達が過ごしているこの生活はとても幸せな事だと実感しました。家族みんなで温かく美味しいご飯を毎日食べ、元氣よく遊び、みんなで勉強して、暖かい布団でぐっすり眠れるこのいつも当たり前のようにしていた事が実はとても尊い事なのですね。これからは、この平和な生活に感謝して生きていこうと思います。



この感想では、原爆の被害が想像以上に大きいことに対して、胸が苦しくなったり、戦争がにくいと憤りを感じたり、みんな争うより協力し合えばいいのにな・・・と考えたりしただけでなく、自分自身の考え方に目を向け、「毎日同じ生活なんかつまらない」と考えていた自分に気づき、当たり前こそが実は尊いことだと考え方が変化していたことが分かります。中学に入学したこの一年間で、自分自身の問題として捉える力や考え方を深めている姿、感謝の心が育っていることに成長を感じました。

次に、二年生の感想を2つ紹介します。

○今回の講演を聞いて、今まで平和学習をしてきた中でも知らなかった事が多くあり、改めて原爆はとても恐ろしい事だと思った。原爆が投下された時だけではなく、その後の生活で多くの病気や精神障害などで十分に勉強できなかつたり、トラウマだったり原爆は多くの恐怖と体への害をもたらしたと思うと、絶対に

繰り返してはならないことだと思った。そして多くの人が亡くなっても遺体は見つからず灰になったと思うと全く想像のできない恐怖だと思った。今回の講話を聞いて自分達のできる身近な平和活動をしていきたいと思います。

○原爆がともおそろしいもので、被爆者はその恐ろしさを後世に伝えていって欲しいという事で、私達も今回の話を聞いて後世に伝えていく義務があると感じました。核兵器を永久になくすために、世界中の人々が世界平和に向けて動いていくことが大切だと思いました。修学旅行に行つて、たくさん学ぼうと思います。

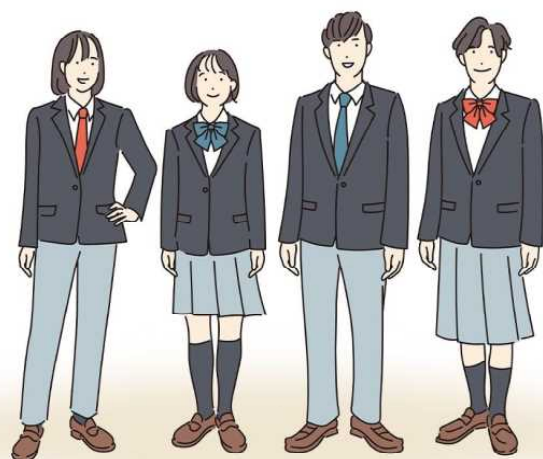
この二つの感想から、「自分に何ができるだろうか」「誰かの役に立ちたい」という主体性が育っていると感じました。二年生の今年の学習の成果が、世界平和のために、自分が出来ることはなんだろうと考える姿に繋がっていると感じました。

最後に三年生の生活記録に綴られた日記から紹介します。

○始業式の時、「制服の女子服、男子服という扱いをなくす」と発表がありました。「おお、ついにー」って感じでした。前々から女子の中でも「ネクタイいなし」っていう話をしていました。卒業していった先輩たちの中にも制服に違和感を覚えていた人はいたと思います。「多様性」という言葉が世界に浸透しつつある今だから、「制服」に区別があることに気づき、変えるべきでは？と考えることができたと思います。世の中には、まだまだ個性が尊重されていないようなことがあります。そんな問題に気づき、考えるためにも、「多様性」、この言葉を大切にしていけることが重要だと思えます。私も、個性を大切に、声を上げることのできる人になりたいです。

「多様性」というキーワードから、私たちが暮らす社会の中にある問題について課題意識を持ち、「自分はどう生きたいか」を語れる三年生に成長しています。

もう一つ紹介します。先日の公立高校後期選抜を終えての日記です。一部だけ抜粋して紹介します。



○最初の国語のテストは結構緊張しましたが、そのあとはあまり緊張しませんでした。今まで、自分のできる限りの努力をしてきたので、もし結果がダメでも悔いはありません。今まで、たくさんの人たちに支えてもらいました。お母さん、お父さんには勉強を教えてもらったり、私に不安なとき、ポジティブな気持ちにしてくれたり色々支えてもらいました。

先生方や友達も、色々な面で支えてくれた人たちのおかげです。本当に感謝です。

人生初の進路選択という壁を乗り越えてきた3年生だからその言葉だなぁと感じます。自分に取って「何が大事なのか」を、きちんと捉えている姿が頼もしく思えました。そして、物事を成し遂げるには「感謝」の気持ちが大事だということ。3年生の感想から学びました。

毎日あたり前のように過ごしているけれど、それは当たり前ではない。周りに支えられていることを自覚し、私も日々感謝して過ごしていきたいと思えます。

さて、令和五年度も来週月曜日の卒業式を迎えるまでとなりました。三年生に限らず、一・二年生も、これまで自分を支えてくれた人、もの、ことへの感謝の気持ちをもつ式でありたいと思います。なにに感謝するのか、また感謝をどう伝えるのか・・・そんなこ

とを考え、行動する感謝の一日にしましょうと呼びかけて、三学期終業式の話とします。

## 生徒代表意見発表より

◆◆◆◆◆

### 一年を振り返って

一年一部 五味陸也

四月に入学をしてきて、もう一年が経とうとしています。最初は

友達のことや勉強のことなど「大丈夫かな」と不安な気持ちでいっぱいでした。こうした不安な気持ちも日が経つにつれ友達と話してうちにだんだんと解消していきました。そこで、僕はこの一年間で頑張ったことが二つあります。

一つ目は勉強です。僕は小学校の頃、国語や数学などが苦手でした。すぐに

諦めてしまっていました。でも、中学に入ってだんだんとわかるようになり、諦めず頑張ることができました。国語では漢字が苦手で、教科書に難しい漢字が出ると読めなかったり、分かったと思っても読みが違ったりしていました。中学に入ってもっと難しい漢字が出てきた時には、自分で調べることでわかる漢字を増やしてきました。数学では計算が苦手で、特に割り算が苦手でした。でも、練習をこなし計算力をつけることができました。

二つ目は部活動です。小学校でもサッカーをしていましたが、ポジションなどがあまりよくわかっていませんでした。でも、先輩方に教えてもらったことで、ポジションを含めサッカーの動きが高まってきました。小学校の時、できなかった技なども練習してできるようになりました。中体連に向けてさらにレベルアップできるように、練習を頑張っていきたいと思えます。

四月からは二年生となり先輩になります。一年生に優しく、わからないこ

とを教えてあげられるような先輩になりたいです。二年生でクラス替えになるけれど、今いるクラスはかけがえない存在です。この一年間、クラスや学年の仲間とともに乗り越えてきた様々な経験を生かして、来年度もたくさんの方に挑戦できたらなと思えます。





## 一年間の振り返り

二年二部 名取 陽向

僕が今年頑張ったことは三つあります。

一つ目は勉強です。一・二年生に比べてテストが難しくなり、去年よりさらに勉強をしないとけないと思いたくさん勉強しました。そのおかげで点数を伸ばすことができました。

二つ目は部活です。僕は男子ソフトテニス部の部長になりました。三年生が引退してから、自分から率先して練習や自主練習に取り組み一・二年生を引っ張りました。今は三年の中体連の大会で、北信越大会出場を目指し日々練習に励んでいます。

三つ目は生徒会です。代議委員会としてクラスへの重要な連絡を全員に伝えるよう意識しながら行いました。また、整列は静かに素早く並べるよう呼

びかけを行いました。クラスの副リーダー長としての仕事を責任を持ってやり遂げることができました。委員会では各委員会の企画に対し、質問・意見を出すことができたので、来年度も続けていきたいと思えます。三年生では受験や最後の中体連など多くのことが待っています。頑張っていきたいです。



## 三年間の成長と三学期を振り返り

三年三部 丸山 歩温

富士見中学校の三年生として迎えた三学期が今日で終わり、長いようであつという間だった学校生活も終わろうとしています。私にとってこの三学期は受験に向けて、準備してきたことで新たな発見をした学期でした。

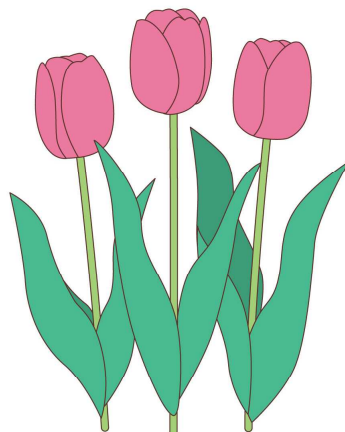
一つ目は自分自身について考えることで、これからの自分につながるこ

です。高校入試の面接に向けて面接準備としてワークシートを渡されました。そのワークシートには面接で聞かれやすい質問が書かれていて、その質問のほとんどが長所や短所、自己PRなど自分に関する質問でした。いざ書こうとすると全然進まず、私は自分のことをよく知らないんだなと思えました。そこで家族や友達に私の長所や短所を聞き、自分では気づかなかったことをたくさん教えてもらいました。今まで知らなかった自分についてより深く知ることができました。自分について考えたことで、自分の長所や得意なことを見つけ、今まではっきりしなかった将来の夢を見つけることができました。

二つ目は相手を知ることによって視野を広げることができるとです。高校入試の面接練習を友達としていたときの会話で長所の話になりました。それぞれ友達に対して思っていた長所はバラバラでしたが、「確かに」と新しく発見したものがたくさんありました。新たな発見をしたことで、今まで気づか

ったことに意識を向けることで、考え方や見方の幅が広がることや、相手のことを考えることでさらに絆を深めることができました。

この二つは、私にとって新たな学びであり、これからの生活にも必要になってくるものだと思います。四月からの新たな生活でも、多くを経験し、成長したことを活かしていきたいです。



富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 0266-62-2009

FAX 0266-62-7409

担当 宮坂 東